

実践事例発表レジュメ

研修・研究事業名	平成31年(2019年)度公民館職員専門講座
実践事例名(テーマ)	このまちに暮らしたいプロジェクト 中学生がつくる30年後の未来のために今できること
事業主体(実施機関)	公益財団法人 広島市文化財団 広島市古田公民館
連携・協力機関等	広島市立古田中学校 このまちに暮らしたいプロジェクト(多世代寺子屋ネットワーク)※住民グループ
発表者	為政 久雄

期日 2019年 6月 5日

内 容

人口減少や人生100年時代という社会課題に適應するため、多様な世代が暮らすエリア特性を生かした事業として、「このまちに暮らしたいプロジェクト」を平成25年度に立ち上げた。

地元中学校からのESD(持続可能な開発のための教育)学習支援の要請がきっかけで、生徒と住民が一緒になって、30年後の地域の暮らしを考え、行動するプロジェクトに取り組んでいる。

中学生の発案で「みんなが幸せに使える公園」をテーマに、ワークショップを重ね、体験イベントの冒険あそび場「ワンダふるたパーク」を年間4回実施している。これにより、公民館が多世代の居場所づくりの拠点となり地域住民の絆が深まっている。

また、この事業が評価され、平成30年(2018年)に第71回優良公民館表彰最優秀館を受賞。